



「藤井聡太の指は震えない」販売  
中日新聞社は、文化芸能部の岡村淳司デス  
クの著書「藤井聡太の指は震えない 番記者  
が追った「天才」棋士の8年」(改訂版)が  
写真IIを販売している。2018年出版の書  
籍「頂へ 藤井聡太を生んだもの」に続く第

2弾。藤井聡太王位をデビュー前から取材し  
てきた著者が、史上5人目の中学生棋士が前  
人未到の八冠独占を成し遂げるまでの軌跡  
と、盤の内外で起きたドラマをつづった。2  
24頁、1540円。  
著者インタビュー動画と試し読み  
はQRコードから。

# 藤井永世王位

## 5連覇 最年少で資格獲得

将棋の藤井聡太王位(22)は、竜王・名人・王座・棋王・王将・棋聖、愛知県瀬戸市に渡辺明九段(40)が挑戦する「伊藤園おいしいお茶杯第65期王位戦7番勝負」(中日新聞社など主催)の第5局が27、28の両日、神戸市の旅館「中の坊瑞苑」で指された。先手番の藤井王位が勝ち、タイトルを防衛。5連覇を達成し、史上最年少で「永世王位」の資格を獲得した。



藤井聡太王位

永世称号はタイトルを多く獲得した棋士に許される特別な呼び名で引退後に名乗るのが通例。王位戦では通算10期以上か連続5期以上で得られる。

藤井王位は2020年に当時のタイトルホルダー木村一基九段(51)を破り、史上最年少で王位を奪取。以後、防衛を続けてきた。

対局中に出される食事は「将棋めし」と呼ばれて注目される。全国各地を転戦する王位戦7番勝負では、ご当地食材を使ったメニューも豊富。管理栄養士の江口澄子さん=愛知県半田市=と、藤井聡太王位が節目で味わった料理を振り返った。  
(小原健太、肩書は当時)

藤井七段が王位戦で初めて注文したのは、2020年に愛知県豊橋市で対局した際の「三河鮮魚の海鮮丼」。ガスエビやマガイ、ウニのほか、地元が誇るブランド養殖魚「絹姫サーモン」などをぎっしりと盛った一品で力をつけ、木村一基王位に先勝した。王位獲得後のインタビューで印象に残った食事を問われ、本人は「この料理を挙げた。永世王位の資格を得た今期も「三河湾」海の幸「海鮮丼」で白星発進しており、「三河と海鮮は縁起の良い取り合わせ」のようだ。

20年の第2局、藤井七段は札幌市で初めて封じ手を書いた。そんな記念すべき日の昼食は、ボリュームたっぷり「中華セットランチ」。カロリーがさぞすくいことに…と思いきや、「900kcal台では」と江口さん。油ものはチャーハンと春巻きくらい。副菜が多く栄養バランスも良さそうという。翌21年、デビュー以来苦手にしていた豊島将之「冠を相手に初防衛を果した。決勝局になった徳島市での第5局、初日の昼食は讃岐うどんを使った「天ぷらうどん」。江口さんは「あっさりめで消化吸収しやすい。精神面の勝負でもあるので、胃に負担をかけない選択はよかったのでは」と太鼓判を押す。22年も豊島九段の挑戦を受けた。神戸市での第3局では、強烈な一手で豊島九段を3時間超の大長考に追い込んだ。1日目に選んだのは、彩り豊かな「神戸牛肉ちらし」。翌年の神戸対局で

も食べたので、気に入ったに違いない。肉料理といえば23年の第4局、佐賀県嬉野市で食べた「佐賀牛シシリアンライス御膳」がユニーク。焼いた肉をサラダの上に盛り付け、マヨネーズをかける。当地グルメだ。対戦相手の佐々木大地七段は肉たっぷり「佐賀牛ローストビーフ丼」を注文。本局は藤井王位が敗れたが、「肉量」の差が命運を分けた!?

今期は初めて「夜食」も出された。名古屋市での第1局が千日手で指し直しになり、対局が夜中まで続いた。その最中に提供された「南高梅と絹姫サーモンのおにぎり」は、会場の徳川園のスタッフが急ぎよこしうえた。抗酸化作用のあるアスタキサンチンをはじめ、カルシウムやビタミンも豊富なシヤケは大正解。「長丁場に耐えるのに最適な食材。パンでなくてご飯なのも、エネルギーをゆっくりに作ってくれ」という点でポイントが高いです。江口さんは藤井王位が選んだ品々について、「栄養バランスも見た目も工夫されている。アスリートの食事に近い印象」と総括する。将棋めしが注目され、コンテストを勝ち抜いたような、より完成度の高いメニューが登場するようになった。その中心にいたのが藤井王位だ。江口さんは「『良いものをちゃんと食べる』という認識が広がってきたのは管理栄養士としてうれしい限り。藤井王位は食文化までも変えちゃったんですね」とほほ笑む。



# 王位戦支えた将棋めし



アスリートのような栄養バランス!



## 三河の海鮮丼

白星呼び込む縁起めし



## 夜食のおにぎり

長丁場にはやっぱり米



## 神戸牛肉ちらし



## 佐賀牛シシリアンライス御膳

## 札幌の中華セット

副菜多く意外とヘルシー



## 徳島の天ぷらうどん



あっさり味で精神集中

パワーつけて強烈一手

## びよりんアイス



脚光 名古屋の新名物に



こぐまくん ケーキ

ライバル? 話題呼ぶ

かつぼん ベリー・ピスターシュ

## かわいいスイーツも大注目

対局にはおやつも欠かせない。各地の職人らが心血を注いで作り上げた逸品はどれもきらびやか。藤井王位はそんな中から、「かわいい」スイーツを好んで選び、話題をさらってきた。その始まりが「びよりん」だ。ひよこをイメージしたスイーツで、名古屋コーチンの卵を使った

プリンをババロアやスポンジで包んだ。もふもふの表面やつぶらな瞳が何ともかわいい。藤井王位は2021年の名古屋対局で、名古屋マリオットアソシアホテルの期間限定商品「びよりんアイス」を選択。ジェイアール東海フードサービスが製造する「本家、びよりんも脚光を浴びた。名

古屋駅の販売店では連日売り切れとなり、今やすっかり名古屋名物として定着した。そんな「強」に待ったをかけるか注目されたのが、今年の名古屋対局で選ばれた「こぐまくんケーキ」だ。名鉄グループの「名鉄運輸」のマスコットをデザイン。ココアスポンジによるふわふわの毛並みに、ホワイトチョコの帽子や目が愛らしい。親会社のJR東海と名鉄のライバル関係と相まっ

て話題になった。札幌市の定山溪温泉で選ばれた「かつぼん ベリー・ピスターシュ」は、近くの淵にすむカッパという設定のゆるキャラ「かつぼん」をかたどった。ピスタチオのムースをふんだんに使い、風呂おけはクッキー。ホテル「定山溪鶴雅リゾートスパ森の舘」がタイトル戦用に作ったが、あまりに反響が大きいため、期間限定で一般販売もされた。

※は日本将棋連盟提供

